

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS必修 助産師必修
担当教員			
荒井勝光、山下慎也、岡村毅、境原三津夫、石井角保、◎岡村典子、山岸美奈子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 荒井 勝光 山下 慎也 岡村 毅 境原 三津夫 ◎岡村 典子 cn.ac.jp 石井 角保 cn.ac.jp 山岸 美奈子 cn.ac.jp	【所属】 新潟県立中央病院 新潟県立中央病院 東京都健康長寿医療センター 桐生大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 216 315 共同研究室5	【メールアドレス】 norio@niigata- sishi@niigata- yamagisi@niigata-
【本学の科目区分】 共通基盤分野				
【D P 1】 <input checked="" type="radio"/> 【D P 2】 <input type="radio"/> 【D P 3】 <input type="radio"/> 【D P 4】 <input type="radio"/> 【D P 5】 <input type="radio"/> 【D P 6】 <input type="radio"/>				

到達目標	1. フィジカルアセスメントの構成と手順、方法について説明できる。 2. 医学的推論・診断の考え方、各系統の診査、及び徴候・症状のアセスメントについて説明できる。 3. 各系統のフィジカルアセスメントは、視聴覚教材やシミュレーションモデルを用いて、手技・方法を実施できる。 4. 代表的な徴候・症状について探求し、プレゼンテーションを通して説明できる。				
授業概要	フィジカルアセスメントの構成と手順、医学的推論・診断の考え方、各系統の診査、代表的な症状・徴候のアセスメントについて講義する。各系統の身体診査は、視聴覚教材やシミュレーションモデルを用いて実施するとともに、相互に検者・被検者になって体験する。				
授業計画	1 10/7	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : フィジカルアセスメント 学修内容 : ・フィジカルアセスメントと臨床看護判断 ・医学診断とのつながり 備考 : 岡村(典)	2 10/7	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : フィジカルアセスメントの構成と手順、方法 学修内容 : ・系統的、部分的フィジカルアセスメント ・フィジカルイグザミネーション 備考 : 岡村(典)	3 10/14
	3 10/14	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 胸部のアセスメント① 学修内容 : ・呼吸系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考 : 石井	4 10/14	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 胸部のアセスメント② 学修内容 : ・循環器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考 : 石井	5 10/21
	5 10/21	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 神経系・感覺器系のアセスメント 学修内容 : ・神経系・感覺器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考 : 山下			

	6 10/21	授業内容 授業形態：講義・グループワーク 学修課題：身体の徴候・症状① 学修内容：・身体の徴候・症状のアセスメント ・徴候・症状1 意識障害 ・徴候・症状2 疼痛（胸痛、腹痛、がん性疼痛） ・徴候・症状3 呼吸困難 備考：岡村（典）、山岸
	7 10/28	授業内容 授業形態：講義（Zoom） 学修課題：生殖器系のアセスメント 学修内容：・生殖器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：境原
	8 10/28	授業内容 授業形態：講義 学修課題：胸部のアセスメント③ 学修内容：・呼吸循環器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：石井
	9 11/4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：腹部のアセスメント① 学修内容：・消化器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：石井
	10 11/4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：身体の徴候・症状② 学修内容：・身体の徴候・症状のアセスメント ・徴候・症状4 精神症状 備考：岡村（毅）
	11 11/11	授業内容 授業形態：講義 学修課題：運動系のアセスメント 学修内容：・筋骨格系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：荒井
	12 11/11	授業内容 授業形態：演習 学修課題：呼吸器系・消化器系のフィジカルアセスメント 学修内容：・症状と疾患の臨床看護判断 備考：山岸、岡村（典）
	13 11/18	授業内容 授業形態：講義 学修課題：腹部のアセスメント② 学修内容：・消化器系、腎・泌尿器系の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：石井
	14 11/18	授業内容 授業形態：講義 学修課題：内分泌代謝系他のアセスメント 学修内容：・内分泌代謝系他の解剖とフィジカルアセスメント ・症状と疾患 備考：石井
	15 11/25	授業内容 授業形態：プレゼン・討議・まとめ 学修課題：身体の徴候・症状③ 学修内容：・6回の徴候・症状①について発表と討議 備考：岡村（典）、山岸
事前・事後学習		事前学修：自身が臨床にて実施しているフィジカルアセスメントについて振り返る。 事後学修：学修を通して培ったフィジカルアセスメントを臨床看護判断に適用し、知識・技術を深めていく。
評価方法、評価基準		到達目標1、2については、各回（講義各12回）の終了後に提出する“振り返りペーパー”36%にて評価する。 到達目標3については、12回目の演習の取り組み姿勢7%、及び“振り返りペーパー”7%にて評価する。 到達目標4については、15回目の発表資料25%、プレゼンテーションの内容25%にて評価する。
テキスト		随時、資料を提示しながら進めるとともに、必要な書籍・文献等は授業内で案内する。
参考図書・資料等		小野田千枝子監修(2008)：実践！ フィジカルアセスメント 第3版，金原出版。 山内豊明(2011)：フィジカルアセスメント ガイドブック 第2版，医学書院。 山内豊明(2023)：バイタルサインからの臨床推論，医学書院。 他、講義内容に応じて適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール		プレゼンテーションの際は、事前に各自が提示する資料を作成し人数分の資料を準備する。
教員からのメッセージ		主体的な参加を期待する。
オフィスアワー		主担当の岡村（典）が窓口となる。メールにてまずは問い合わせ。